

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-70	中学校	外国語	英語	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15・三省堂	英語 015-82	NEW CROWN English Series 2		

## 1. 編修の基本方針

### 確かな学力 国際社会に対応できる資質・能力 豊かな人間性

本教科書は、教育基本法の理念に基づき、4つの力（「ことばを使う力」「考える力」「人や文化などとかかわる力」「学びに向かう力」）を育成することを目指して編修しました。

#### ★ 教科書の特徴

##### 2年生のテーマ

## Have a Dream

### 可能性をひろげよう

学ぶことは自分の可能性を広げること。  
さまざまな考え方に触れ、自分と向き合い、  
学びながら世界を広げていこう！



Point

ストーリーを楽しむ

Point

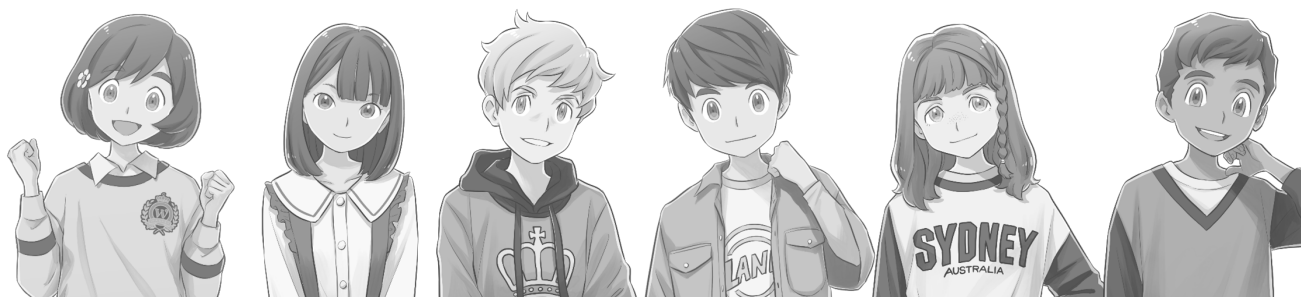
伝え合い、話し続ける

Point

伝え方を工夫し、発信する

Point

自分に引き寄せて考える



★ 育成する 4 つの力

ことばを使う力

ことばを使って理解し、表現し、伝え合いながら、実際のコミュニケーションで活用できる確かな英語力を育成します。

考える力

さまざまな活動を通して、目的や場面、状況に応じてコミュニケーションを図る力と、論理的・批判的に考える力を育成します。

人や文化など  
かかわる力

さまざまな人や文化などに触れながら、社会の多様性を理解しかかわっていく力と、豊かな心を育成します。

学びに向かう力

多様な学び方を体験しながら、学ぶことを楽しむ心と、主体的・協働的に学ぶ力を育成します。

★ 特色を生かした学び

登場人物を通して、  
ストーリーを楽しみます

- ◆ 登場人物に共感したり、話の続きを想像したりして、楽しみながら聞いたり、読んだりします。
- ◆ 身近な場面や状況で使われる自然な英語を通して、トピックやテーマに親しんだり、人や文化などへの理解を深めたりします。



Fun with Books (Lesson 2 / pp.15-23)

身近なことについて、  
伝え合い、話し続けます

- ◆ レッソンのテーマやトピックに関連した身近な話題について、即興でやり取りします。
- ◆ やり取りを継続するためのコツを学び、さまざまな話題について、できるだけ長く会話を続けたり、会話を深めたりします。

会話の進め方



Small Talk Plus (Lesson 2 / p.21)

構成や話し方を工夫し、  
書いたり、話したりします

- ◆ 自分の考えや意見が伝わるように、表現や構成を工夫して、文を組み立てます。
- ◆ 自分が伝えたいことに合わせて、音声やジェスチャーなどを工夫して発表します。

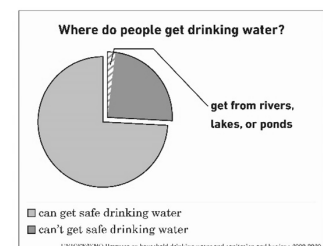
ジャンル	fantasy
本の説明 (登場人物など)	A young ( ) goes to a faraway
	① easy ( )
	② ( ) story



『おすすめの日本語の本を教えてください!』(Lesson 2 / pp.22-23)

多様な題材を、自分たちに  
引き寄せて考えます

- ◆ 環境や人権、平和など、社会的な話題について書かれた英文を読んで、実際に自分たちの身のまわりにあることと関連させて考えます。
- ◆ 英語を使う必然性のある、リアルで身近な場面で、聞いたり、話したり、読んだりします。




Safe Clean Water (Lesson 4 / pp.45-53)

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
題材	① 取り扱う題材は、生徒の知的欲求に合致するものを選択しています。(第1号)	Lesson 1 Meet New Friends Lesson 6 Friends from Singapore
	② 物語では、生徒の感性に訴える作品を配置しています。(第1号)	Reading Lesson 1 The Tale of Peter Rabbit Reading Lesson 3 A Pot of Poison
	③ 個人の能力や創造性を伸ばし、個性を発揮するなかで、それらを将来の生活や職業に結びつけることができるような題材を扱っています。(第2号)	Lesson 2 Fun with Books Lesson 3 My Dream Lesson 6 Friends from Singapore
	④ 正義および自他の敬愛と協力など、社会への主体的な参画を扱っています。(第3号)	Lesson 5 Visiting Australia Reading Lesson 2 Online Experiences
	⑤ 自然科学、環境、防災を扱っています。(第4号)	Lesson 4 Safe Clean Water Further Reading 1 Water from Air
	⑥ 日本の伝統文化、および他国の文化を扱っています。(第5号)	Lesson 7 Gifts from China Lesson 8 Rakugo Goes Overseas Further Reading 2 The World of Tea Further Listening English Rakugo
言語活動	① 各課の言語活動においては、取り組む生徒の個性・創造性・自主性が発揮されるように配慮しています。(第2号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年生のときに体験したことを教えて！ (p.11)</li> <li>・ おすすめの日本語の本を教えて！ (pp.22-23)</li> <li>・ 町や地域の魅力を教えて！ (pp.64-65)</li> <li>・ おすすめの日本のおみやげを教えて！ (pp.94-95)</li> </ul>
	② 言語活動においては、職業および勤労、環境問題、社会貢献、伝統と文化の尊重、平和の問題などの題材を扱っています。(第2号、第4号、第5号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『捨てないパン屋』ができるまで (pp.34-35)</li> <li>・ スピーチ [My Dream] (pp.38-39)</li> <li>・ 身の回りにはどんな環境問題がある？ (pp.52-53)</li> <li>・ モナの日本の思い出 (pp.76-77)</li> <li>・ 英語落語家のインタビュー (pp.104-105)</li> </ul>
	③ ペアやグループなどの形態を重視し、生徒同士が協力して活動に取り組めるように配慮しています。(第3号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人気のあるもの調査 (pp.80-81)</li> <li>・ 好きなもの × 観光マップ (pp.108-109)</li> <li>・ Small Talk Plus (pp.21, 33, 51, 63, 93)</li> <li>・ Take Action! Talk (pp. 26, 56, 67, 98)</li> <li>・ ロールプレイシート (資料 pp.50-51)</li> </ul>
資料	生徒の自律的な学びを支える資料を配置しています。(第2号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二次元コード (本文や単語の音声/発音チェック/資料映像/英和辞典/文法解説動画など)</li> <li>・ For Self-study (教科書の上手な使い方/使える単語を増やそう/リスニングのコツ/英語の文章構成)</li> <li>・ 資料 (つづりと発音/基本文のまとめ/スクリプト/形容詞・副詞比較変化表/不規則動詞活用表/いろいろな単語/単語の意味/会話表現/ロールプレイシート/Can-Doリスト)</li> </ul>
登場人物	登場人物の配置及び活動については、男女・出身地域の偏りがないように配慮しています。(第3号、第5号)	全課にわたる登場人物及びその活動
構成	教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、生徒にわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮しています。(第2号)	しくみと学び方 (pp.4-5)、レッスンとびら、言語活動のふり返し、レッスン構成、Language Focus (pp.12, 24, 36, 54, 66, 78-79, 96, 106-107)、For Self-study (pp.6, 44, 86, 114, 巻末)、What Can I Do? (資料 pp.52-53)

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① すべての生徒が学習しやすい紙面づくり

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所														
<p>① 特別支援教育への配慮</p>	<p>a) カラーユニバーサルデザインの見地より、識別しにくい配色は避け、グラフや地図などの図版、および文字や記号などについて、色の組み合わせや濃淡などに配慮しています。</p> <p>b) 特別支援教育の見地より、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりを設けたり、罫線などを付したりすることで、だれもが使いやすい教科書となるように意を用いています。</p>	 <p>(Lesson 4 / p.47)</p> <p>(Lesson 6 / p.70)</p>														
<p>② 学習上の配慮</p>	<p>a) 題材や挿絵に登場する人物などについて、性別による偏りがないように配慮しています。また、出身地域や人種、身体的特徴などについても、多様性に意を用いています。</p> <p>b) 基本的に見開き構成とし、その時間に学習する内容が一目でわかるようにしています。また、教材の配列をわかりやすくし、パターン化することで、英語の学習に集中できるように配慮しています。</p> <p>c) 能力や性別などの違いに関係なく、多くの人たちが利用しやすいデザインになるよう配慮しています。</p>	<p>a) </p> <p>Hana Jing Mark Riku Kate Dinu (登場人物紹介 / 巻頭)</p> <p>b) </p> <p>(Lesson 2 Part 1 / pp.16-17)</p>														
<p>③ 小学校外国語科との連携</p>	<p>小学校で学んだ語句や表現のうち、全ての中学生が話したり、書いたりできるようになってほしい発信語彙は、くり返し学べるように、本文内で扱っています。また、本書側注では、中学校の新出語句とは別に ♡ を付けて提示したり、巻末資料の「いろいろな単語」では、☆をつけて提示したりすることで、身につけるべき語句の重要度を意識できるように配慮しています。</p>	<p><b>New Words</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☑ <b>dream</b> [dri:m] (p.27)</li> <li>☑ <b>build</b> [bild]</li> <li>☑ <b>tower</b> [taʊə]</li> <li>☑ <b>interpreter</b> [intəˈprɪtə]</li> <li>☑ <b>around the world</b></li> </ul> <p>♡ <b>world</b> [wɜ:ld]</p> <p>(Lesson 3 / p.28)</p> <p><b>自然・天候</b></p> <p>ⓐ A: How did you spend your vacation? B: I went to the sea. It was sunny, and we enjoyed it a lot.</p> <table border="0"> <tr> <td>☆自然</td> <td>nature</td> </tr> <tr> <td>☆海</td> <td>sea, ocean</td> </tr> <tr> <td>☆川</td> <td>river</td> </tr> <tr> <td>☆木</td> <td>tree</td> </tr> <tr> <td>☆月</td> <td>moon</td> </tr> <tr> <td>☆太陽</td> <td>sun</td> </tr> <tr> <td>☆花</td> <td>flower</td> </tr> </table> <p>(いろいろな単語 / 資料 p.23)</p>	☆自然	nature	☆海	sea, ocean	☆川	river	☆木	tree	☆月	moon	☆太陽	sun	☆花	flower
☆自然	nature															
☆海	sea, ocean															
☆川	river															
☆木	tree															
☆月	moon															
☆太陽	sun															
☆花	flower															
<p>④ 高等学校外国語科との連携</p>	<p>a) 高校の学習で必要とされる基礎的な力を、5 領域に渡って確実に身につけられるように意を用いています。読む活動では、第 3 学年終了時の目標語数を 500 語程度に設定し、段階的に英文を長くしたり、書く活動や発表活動では、題材に合わせてさまざまな文章構成や表現が身につくよう配慮しています。また、聞く活動とやり取りの活動では、オーセンティックで、英語を使う必然性のある場面設定となるように配慮しています。</p> <p>b) 語句や表現については、New Words 以外にも、活動のそばに Expressions や Word Bankなどを配置したり、巻末資料にも多数提示したりして、適宜活用できるように意を用いています。</p>	<p>◆ 語彙の取扱い</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>新出語彙</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 学年</td> <td>562 語</td> </tr> <tr> <td>第 2 学年</td> <td>630 語</td> </tr> <tr> <td>第 3 学年</td> <td>435 語</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,627 語</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 小学校で学習したとみなす語彙は 669 語</p> <p>◆ オーセンティックな場面や状況 空港/博物館/コンサート会場/駅/買い物/話し合い/オンラインショッピング/ラジオニュース/インタビュー</p> <p>◆ Expressions / Word Bank</p> <p><b>Expressions</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Flight 495 495便</li> <li>• passenger 乗客</li> <li>• Gate 53 53番ゲート</li> </ul> <p>(Take Action! Listen 1 / p.13)</p> <p><b>Word Bank</b> 【ジャンルなど】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• action アクション</li> <li>• adventure 冒険</li> <li>• fantasy 空想小説、ファンタジー</li> </ul> <p>(Lesson 2 / p.23)</p>		新出語彙	第 1 学年	562 語	第 2 学年	630 語	第 3 学年	435 語	合計	1,627 語				
	新出語彙															
第 1 学年	562 語															
第 2 学年	630 語															
第 3 学年	435 語															
合計	1,627 語															

<p>(4) 高等学校外国語科との接続</p>	<p>c) 中学卒業後も英語学習を続けていけるように、What Can I Do? (Can-Do リスト) や For Self-study など、自律的な学習をサポートする資料などを示して、高校での英語学習に耐えうる学習スキルを身につけられるように意を用いています。</p>	<p><b>What Can I Do?</b> 英語の学習にCan-Doリストを活用しよう</p> <p>3年間の学習の中で、できるようになってほしいことのリストです。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>① 聞くこと</td> <td>② 読むこと</td> </tr> <tr> <td>中学3年</td> <td>はっきりと話でれば、社会的な話題について、必要な情報を取ったり、話の要点や話の目的の要点を捉えたりすることができる。</td> <td>社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を取ったり、話の要点や話の目的の要点を捉えたりすることができる。</td> </tr> <tr> <td>中学2年</td> <td>はっきりと話でれば、日常の話題について、必要な情報を取ったり、話の要点や話の目的の要点を捉えたりすることができる。</td> <td>日常の話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を取ったり、話の要点や話の目的の要点を捉えたりすることができる。</td> </tr> </table> <p>(What Can I Do? / 資料 p.52)</p>		① 聞くこと	② 読むこと	中学3年	はっきりと話でれば、社会的な話題について、必要な情報を取ったり、話の要点や話の目的の要点を捉えたりすることができる。	社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を取ったり、話の要点や話の目的の要点を捉えたりすることができる。	中学2年	はっきりと話でれば、日常の話題について、必要な情報を取ったり、話の要点や話の目的の要点を捉えたりすることができる。	日常の話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を取ったり、話の要点や話の目的の要点を捉えたりすることができる。
	① 聞くこと	② 読むこと									
中学3年	はっきりと話でれば、社会的な話題について、必要な情報を取ったり、話の要点や話の目的の要点を捉えたりすることができる。	社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を取ったり、話の要点や話の目的の要点を捉えたりすることができる。									
中学2年	はっきりと話でれば、日常の話題について、必要な情報を取ったり、話の要点や話の目的の要点を捉えたりすることができる。	日常の話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を取ったり、話の要点や話の目的の要点を捉えたりすることができる。									

② 環境にやさしい教科書づくり

図書の内容	特に意を用いた点や特色
① 用紙	用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい紙を使用しています。
② インキ	インキについては、植物由来の油及び、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用しています。

③ 今日的な課題への取り組み

図書の内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
① 学習の見通しとふり返り	学期や学年単位で、見通しを持って学んだり、ふり返ったりするための「Can-Do リスト」を巻末に配置しています。また、言語活動のページ下部に設けた「ふり返り」を活用することで、コミュニケーション活動への取り組みを自己評価し、その後の学びに生かしているように配慮しています。	<p>2年のCan-Do (資料 p.53) → 2年のふり返り (資料 p.53)</p> <p>日常の話題や社会的な話題について、事実や自分の考えを整理して、おすすめの本やおみやげなどの紹介文を書くことができる。 → Goal 2, 7 / P. 2</p> <p>レッソンのふり返り (Lesson2 Goal Activity / p.23)</p> <p>ふり返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 理由をつけ加えて、本を紹介することができた。</li> <li><input type="checkbox"/> 読み手を意識しながら、本を紹介するカードを書こうとした。</li> </ul>
② ICT の活用と英語の音声等の提供について	音声やアニメーション、モデル動画や資料映像、発音確認や英和辞典など、生徒の学びを深めるコンテンツを豊富に用意し、紙面に付した二次元コードから利用できるように意を用いています。また、映像を視聴しながら取り組む活動も随所に設定しています。	<p>Scene 1 Scene 2 New Words</p> <p>アニメーションで、言語を使う場面や状況を提示します。</p> <p>マークと花が職場体験プログラムについて話しています。 マークが職場体験先を決めた理由は何ですか。</p> <p>(Lesson 3 Part 1 Scene1 / p.28)</p>
③ カリキュラム・マネジメントの推進に向けて	<p>a) 他教科と関連した題材を積極的に取り入れ、教科横断的な視点で、より広く、深く学べるように配慮しています。</p> <p>b) For Self-study や Further Reading、その他資料など、一人一人の学びに合わせて選択できるページを設け、家庭学習でも活用できるように意を用いています。</p>	<p>For Self-study 2 使える単語を増やそう</p> <p>Further Reading 1 Water from Air</p> <p>(For Self-study 2 / p.44)</p> <p>(Further Reading 1 / 資料 pp.2-3)</p>
④ 防災・環境・平和、日本の伝統文化	取り扱う題材の中で、登場人物と一緒に、防災と安全について考えたり、身近な環境問題や社会問題について話し合ったり、自然や平和の大切さを感じたりする場面を設定しています。また、日本の伝統文化や、それに携わる人々への理解を深めたり、日本や日本文化の良さを海外に発信したりできるように、題材の配置や配列にも意を用いています。	<p>2 花とディナーのプレゼンテーション</p> <p>Scene 1</p> <p>Rakugo Goes Oversea</p> <p>(Lesson 4 / pp.45-53)</p> <p>(Lesson 8 / pp.99-105)</p>

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当時数表)

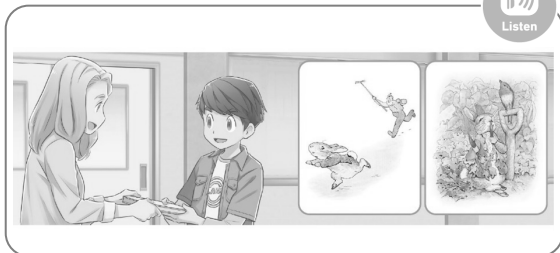
受理番号	学校	教科	種目	学年
105-70	中学校	外国語	英語	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15・三省堂	英語 015-82	NEW CROWN English Series 2		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### Point 1

## 登場人物を通して、ストーリーを楽しみます

### Scene 1



Fun with Books (Lesson 2 / p.18)

### Scene 2



Fun with Books (Lesson 2 / p.19)

- 簡単な英語で話された会話を聞いて、場面や状況を理解し、題材やテーマに親しみます。
- 日常的で自然な流れの会話を通して、言語の使用場面と新しい文法事項を導入します。
- 題材やテーマについて関心を高め、Scene 2 の場面や状況への橋渡しをします。

- Scene 1 から続く場面や状況で、話された英文を聞いたり、書かれた英文を読んだりして、概要や要点を捉えます。
- レッスンを通して展開する一連のストーリーの中で、登場人物の気持ちや考えに共感したり、話の続きを想像したりします。

### Point 2

## 身近なことについて、伝え合い、話し続けます

### Small Talk

- Part 1 自由時間にすることについて、ペアで話してみよう。
- Part 2 お気に入りのキャラクターについて、ペアで話してみよう。

Small Talk (Lesson 2 / pp.16, 18)

- 各レッスンのパートでの学習の始めに、身近な事柄について、ペアの相手を変えながら即興でやり取りします。
- レッソンのテーマやトピックに関連した会話を行うことで、そのあとの学習への動機づけをします。

### Small Talk Plus

Tips! 話題に関連した質問をしよう!

お気に入りの登場人物や場面など、相手が答えた本に関連した質問をしよう。読んだことのない本であれば、どんな話かたずねてみよう。

B I like *Peter Rabbit*. The story is exciting!

A I agree. + Which part of the story do you like?

Small Talk Plus (Lesson 2 / p.21)

- 会話を継続するためのコツや、会話を深めるときに役立つ表現を学びます。
- 学んだことを生かして、会話を長く続けるために、どのような工夫をすればよいかを考えながら、Part 1-2 で話したテーマで、もう一度やり取りします。

Point  
3

## 構成や話し方を工夫し、書いたり、話したりします

### Goal Activity

#### Write

**Watch**  
陸が書いている様子を見よう。

ジャンル	fantasy
本の説明 (登場人物など)	A young ( ) goes
おすすめ理由	① easy ( ) ② ( ) story

『おすすめの日本語の本を教えてください!』(Lesson 2 / pp.22-23)

- ◆ レッスンに関連したテーマについて、目的や場面、状況に応じて、文の構成や型を意識しながら、事実や自分の考えなどを書きます。
- ◆ 活動に取り組む前に、Watch の動画を見て、モデル文の筆者が内容を考えたり、構成を検討したりする様子を確認します。
- ◆ アイデア出しや、チャートを使った構成の検討、ペアでの原稿チェックなど、英文が完成するまでのプロセスを丁寧にたどります。

### Goal Activity

#### Speak

**Watch**  
ベティーが話している様子を見よう。

**Notes**  
This is a big market in Sydney, / The Rocks  
I'll show you my favorite spots in the market.  
Every Saturday and Sunday, /  
local farmers, / chefs, / and artists gather

『町や地域の魅力を教えてください!』(Lesson 5 / pp.64-65)

- ◆ レッスンに関連したテーマについて、目的や場面、状況に応じて、メモなどをもとにまとまりのある内容を発表します。
- ◆ 活動に取り組む前に、Watch のモデル動画を見て、音声や話し方、態度などについて、どのような工夫をすれば、自分の言いたいことが聞き手に伝わるのかを考えます。
- ◆ 書いたり、話したりしたことについて、即興的にやり取りする活動にも取り組みます。

Point  
4

## リアルな題材を、自分に引き寄せて考えます

### Goal Activity

#### Read

**Rakugo**  
in English  
January 24  
Open 16:00 / Start 16:30

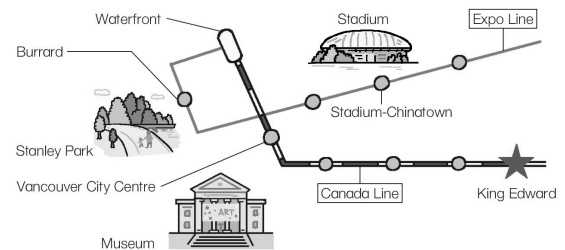
**Program**  
1. Time Noodles  
「時そば」  
2. I Hate Manju  
「まんじゅうごわい」

Rakugo Goes Overseas (Lesson 8 / pp.99-105)

- ◆ さまざまなジャンルの題材を取り上げ、説明文、意見文、物語文の3つのテキストタイプをバランスよく配置しています。
- ◆ Goal Activity では、Part 1~3 からつながった場面や状況で、関連した題材について書かれた英文の概要や要点を読み取ります。
- ◆ Goal Activity では、読んで理解したことを身の回りのことと関連させて、感じたことや考えたことを自分の言葉で表現します。

### Take Action!

#### Listen Talk Read



『電車の乗り換え案内』(Take Action! Talk 3 / p.67)

- ◆ 英語を使う必然性のある、日常生活で出会うような場面や状況で、聞いたり、伝え合ったり、読んだりします。
- ◆ Listen では、必要な情報を聞き取ったり、話の概要や短い説明の要点を捉えたりします。
- ◆ Talk では、スキットを参考に即興で会話したり、ロールプレイに取り組んだりします。
- ◆ Read では、多くの情報の中から、自分が必要な情報を探しながら読みます。

## 2. そのほかの観点と内容の特色

観点	内容の特色
① 教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 全体の構成は、自ら学ぶ力をつけ、<b>自律的な学習者</b>を育成できるようにしました。</li> <li>◆ 題材は、<b>日本および他国の文化、自然、環境、防災</b>など、幅広く取り上げ、<b>伝統や文化の尊重、国際的な視野、命や自然を大切にする心、主体的に社会に参画する態度</b>などを育成できるようにしました。</li> <li>◆ 伝統文化など<b>日本のよさ</b>を発見し、それらを発信する単元、<b>外国の文化を学び尊重する心</b>を育む題材を豊富に用意しました。</li> </ul>
② 学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 目的や場面、状況に応じて、<b>生きて働く知識及び技能を確実に向上</b>させるとともに、<b>思考力・判断力・表現力を働かせて</b>、個々の創造性を発揮できる活動を充実させ、相手意識を持ちながら<b>主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度</b>を育成します。</li> <li>◆ <b>外国の生活や文化と、自国の伝統や文化</b>をより深く理解する豊富な題材と、5 領域（聞くこと・読むこと・話すこと〔やり取り〕・話すこと〔発表〕・書くこと）のさまざまなコミュニケーション活動を通して、<b>ことばを使う力</b>を育みます。</li> </ul>
③ 道徳教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自分のできることを表現する活動などで<b>生徒の自己肯定感</b>を高めます。また、<b>国際理解教育</b>に資する題材、単元を配置し、<b>国際社会の平和を希求する心</b>を育みます。</li> <li>◆ 学習者と同学年の人種の異なるメインキャラクターの生活を話題としながら、<b>多様な価値観</b>を受け入れ、<b>いじめや差別のない社会への意識</b>や<b>人権意識</b>を高めます。</li> </ul>
④ 内容・系統 (小学校、高校との連携)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 1年の前半で、小学校で学習した内容を復習したり、身につけた力を確認したりすることで、<b>小学校での学びと中学校での学びを円滑に連携</b>することができます。</li> <li>◆ 高校で求められる<b>理解力や表現力の基礎</b>を身につけるために、語彙を増やしたり、体系的に文法事項を理解したり、勉強の仕方を学んだりすることができるよう、本書内及び<b>二次元コードからさまざまな資料を参照</b>することができます。</li> </ul>
⑤ 組織・配列・分量 (スパイラル・学年間 接続など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 主な単元は、1年に9レッスン、2年に8レッスン、3年に8レッスンを配当し、それぞれの<b>レッスンの最後に、ゴールとなるコミュニケーション活動</b>を設定しています。</li> <li>◆ 各レッスンは Part と Goal Activity で構成され、知識・技能と思考力・判断力・表現力を段階的に身につけられるよう、<b>言語材料と言語活動をバランスよく配置</b>しています。</li> <li>◆ 各レッスンの最後に設定した Goal Activity では、<b>レッスンごとに「読むこと」または「書くこと／話すこと」のコミュニケーション活動に取り組み</b>ます。また、学期（3学期制）に1回ずつ設定された Project を通して、複数の技能を活用した活動に取り組み、<b>総合的な力を身につけられる構成</b>になっています。</li> </ul>
⑥ カリキュラム・マネジメントへの配慮 (評価を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 学年を通して<b>一定の流れで学べる</b>ようにすることで、目標や指導の流れがわかりやすく、教員の経験に関わらず<b>指導しやすい構成</b>となっています。</li> <li>◆ 活動ごとに5領域、評価の3観点が明確に紐づけられ、巻末の Can-Do リストやレッスン扉の Lesson Preview、コミュニケーション活動後のふり返しなどを参照することで、<b>系統的な指導計画</b>とそれに基づいた<b>評価がしやすい構成</b>になっています。</li> </ul>



観点	内容の特色
⑦ 基礎的・基本的な知識、技能別コミュニケーションの能力育成への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 音声から文字へ、練習活動からコミュニケーション活動へと、<b>授業がスムーズに流れるように活動を配列</b>しています。</li> <li>◆ 練習活動では、知識及び技能の習得を中心としたものを<b>スパイラルに指導</b>でき、<b>基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得</b>できます。また、コミュニケーション活動では、目的・場面・状況を意識しながら、<b>思考力・判断力・表現力の育成</b>を目指します。</li> </ul>
⑧ 他教科との関連 (ESD を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 社会科、理科、技術・家庭科などに関連する題材や歌など、<b>他教科との関連</b>をもち、<b>CLIL や ESD の考え方に基づく学習</b>に発展させることができます。</li> </ul>
⑨ 学習方法・授業展開への配慮 (主体的・対話的で深い学びとの関連)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 各レッスンでは、<b>深い学びにつながる課題を設定</b>し、生徒が<b>主体的に考えや気持ちを表現</b>できるようにしています。また、それぞれの活動では、既習事項を駆使して思考力・判断力・表現力を働かせ、ペアワークやグループワークをしながら<b>対話的に学び合</b>います。</li> <li>◆ コミュニケーション活動の終わりにその取り組みを振り返ることで、主体的に学びに関わり、<b>学習の自己調整</b>の力を育てます。</li> </ul>
⑩ 多様な学習環境への対応 (ICT、学習の習慣化、個別最適な学び、複式学級など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 練習活動、コミュニケーション活動、異文化理解の資料などに<b>音声や映像を使った教材</b>を用意しており、多様な指導をすることができます。</li> <li>◆ <b>二次元コード</b>を利用して生徒が個別に音声や動画、<b>発音のチェック</b>や<b>辞書機能</b>などの情報にアクセスすることができ、<b>自学自習</b>や<b>感染症対策を含めた家庭学習</b>などの多様な学びにつなげることができます。</li> <li>◆ 第1学年の My Dictionary や、全学年の巻末に配置した「いろいろな単語」などの資料を、<b>自学自習</b>等で積極的に活用し、それぞれの生徒の状況に合わせて語彙や表現を広げるなどして、<b>個別最適な学び</b>へとつなげることができます。</li> <li>◆ 言語材料や言語活動を、3 学年を通して<b>スパイラルに配置</b>しており、<b>複式学級での指導</b>にも配慮しています。</li> </ul>
⑪ 学びやすさ・特別支援への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 専門家の校閲による<b>カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面</b>づくり、学習要素が定位置にあり、それぞれにねらいが明確な紙面構成、わかりやすい活動の内容と指示文など、<b>特別支援</b>が必要な生徒にも<b>学習上の支障がないように配慮</b>しています。</li> <li>◆ 大判 (A4 判) で、イラストや写真を大きく扱って見やすくしています。また、全学年を通して、<b>ユニバーサルデザインに配慮したフォント</b>を使用しています。</li> </ul>
⑫ 地域・社会・家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 日本や地域を紹介するレッスンでは、<b>自国や地域への愛着の心</b>を育むことができます。</li> <li>◆ 生徒の作品を展示したり、それらを使って発表したりして、<b>地域交流、国際交流</b>の取り組みにつなげることができます。</li> </ul>
⑬ 造本の工夫 (書き込み・評価への対応など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 環境保護や資源節約のため、原料や製法に配慮した、<b>環境にやさしい用紙</b>を使用しています。</li> <li>◆ 植物由来の油及び、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の<b>植物油インキ</b>を使用しています。</li> <li>◆ 印刷は鮮明で、見やすく、製本は堅牢であり、長期間の使用に耐えられます。</li> </ul>

### 3. 対照表

2年	構成・内容・言語材料・言語活動	該当箇所 ページ	配当 時数	学習指導要領 の内容
Lesson 1	<b>Meet New Friends</b> バスケ部へようこそ ★ 未来を表す表現 (will / be going to ...)	7~11	4	(1)、(2)、 (3)①イウエオカ、 ②
Lesson 2	<b>Fun with Books</b> お気に入りの本 ① When I was ..., ~. / If you have ..., ~. ② I think (that) .... ③ be sure (that) ...	15~23	8	
Lesson 3	<b>My Dream</b> 将来の夢 ① My dream is to be .... / I want to help .... ② Many customers came ... to buy ~. / something to drink ③ must ... / must not ...	27~35	8	
Lesson 4	<b>Safe Clean Water</b> 安全できれいな水 ① There is [are] .... / Is there ...? ② doing the laundry ③ have to ... / do not have to ...	45~53	8	
Lesson 5	<b>Visiting Australia</b> オーストラリア旅行 ① I will show you some pictures. ② Please call me Betty. / It makes me happy. ③ show you how to ...	57~65	8	
Lesson 6	<b>Friends from Singapore</b> 姉妹校から来た友だち ① smaller than ... / the smallest ... ② more popular than ... / the most popular ... ③ as small as ... / like ... the best	69~77	8	
Lesson 7	<b>Gifts from China</b> 中国のおみやげ ① I have seen .... / My sister has visited .... ② Have you ever tried ...? / I have never tried .... ③ tell me (that) ...	87~95	8	
Lesson 8	<b>Rakugo Goes Overseas</b> “落語”から“rakugo”へ ① I have just finished .... / Have you finished ...? ② I have been .... / How long have you been ...?	99~105	6	
Project	1. スピーチ [My Dream]      2. 人気のあるもの調査 3. 好きなもの × 観光マップ	38~39, 80~ 81, 108~109	各2	(2)、(3)
Reading Lesson	1. The Tale of Peter Rabbit      2. Online Experiences 3. A Pot of Poison	40~43, 82~ 85, 110~113	各4	(1)、(2)、 (3)①ウ(ア)ウ(I)
Take Action! Listen	1. 空港のアナウンス      2. コンサートのお知らせ 3. ボイスメッセージ      4. ラジオニュース 5. 冒険家のインタビュー	13, 25, 37, 55, 97	各1	(1)、(2)、 (3)①イ、②
Take Action! Talk	1. 買い物                      2. 話し合い 3. 電車の乗り換え案内      4. 話し合い	26, 56, 67, 98	各1	(1)、(2)、 (3)①エオ、②
Take Action! Read	1. 博物館のイベント      2. オンラインショッピング	14, 68	各1	(1)、(2)、 (3)①ウ(イ)、②
Language Focus	1. 時制の復習      2. 接続詞      3. to+動詞の原形など 4. There is [are] ....、動名詞など 5. show+A+B / call+A+B など      6. 比較、助動詞 7. tell + A + that ....、前置詞      8. 現在完了形	12, 24, 36, 54, 66, 78~79, 96, 106~107	各1	(1)

合計 95